

労働安全衛生の推進

基本的な考え方

当社グループは、企業グループ理念を実現するために「目指す企業像」の要件として、「社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む」ことを掲げています。その前提となる、当社グループの各拠点で働く人たちの安全衛生の確保は、健全な経営を維持するための重要課題であると認識しています。

当社グループは「安全防災に関する理念と基本方針」を定め、労働・安全衛生体制を構築し、労使一体で従業員の健康を維持するとともに、快適で働きやすい職場環境の実現と防災に努めています。

→理念と基本方針

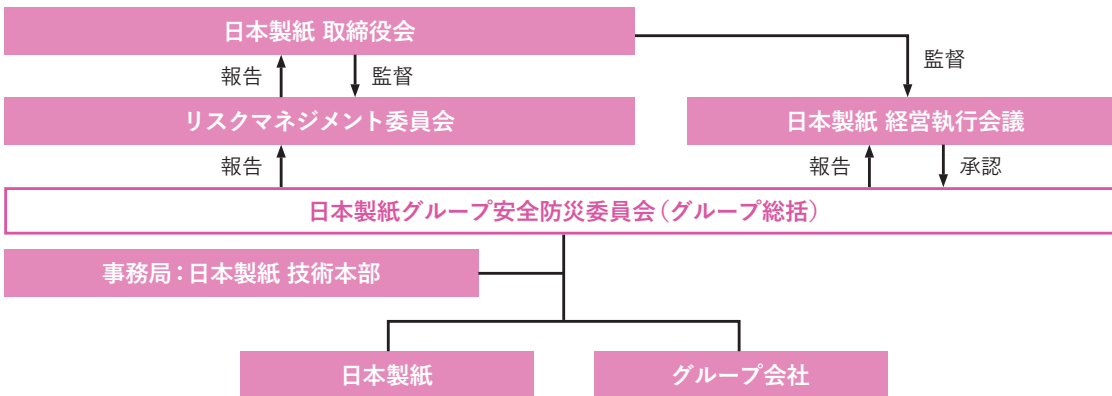
<https://www.nipponpapergroup.com/csr/policies/>

推進体制

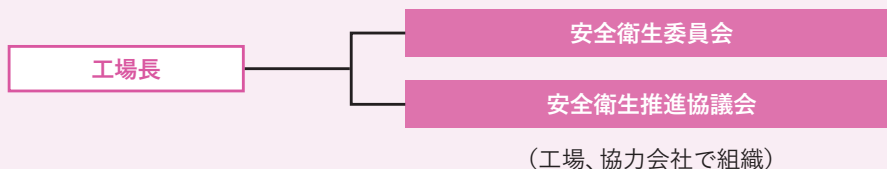
当社グループは、当社の取締役会の監督のもと、リスクマネジメント委員会を設置し、技術本部長を委員長とする「日本製紙グループ安全防災委員会」が労働安全衛生、防災を統括・推進しています。

災害発生時の工場・本社間、本社内各部門間の連絡体制を定め、必要な情報を安全防災委員会および経営層に報告する仕組みを構築し、運用しています。

当社では、本社、工場、労働組合の安全衛生担当で労使合同安全衛生会議を定期的に行い、従業員の意見を反映しています。工場・事業所等の各拠点では個別に「安全衛生委員会」と「安全衛生推進協議会（工場、協力会社で組織）」を開催しています。労使および各拠点で作業する協力会社、関係請負会社と協調・連携し、安全衛生管理活動を推進しています。



工場の安全衛生組織の例 (日本製紙)



安全活動に関する外部表彰（2020年度）

表彰名	会社・事業所
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅰ種」	日本製紙 石巻工場
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅰ種」	日本製紙 関東工場
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅰ種」	日本製紙パピリア 原田工場
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅱ種」	日本製紙 石巻工場安全衛生協力会
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅰ種」	日本製紙 勿来工場安全衛生協力会
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優秀賞第Ⅰ種」	日本製紙パピリア 吹田工場安全衛生協力会
第60回全国紙パルプ安全衛生大会「安全優良賞」	日本製紙 八代工場安全衛生協力会

— 労働安全衛生マネジメントシステム

- 当社グループでは、独自の労働安全衛生マネジメントプログラム（NPSS[※]）を2009年から運用しています。

※NPSS（Nippon Paper Occupational Safety and Health Management System）：

安全衛生についての会社の方針や施策に沿って、工場、事業所ごとに具体的、継続的かつ自主的な活動を安全衛生計画として組み込み、労働災害の防止と労働者の健康増進、快適な職場環境など安全衛生水準の向上に役立っている。

- 工場・事業所・グループ各社ごとに安全衛生計画を立案・推進、その取り組みの進捗などについて「工場安全監査」を実施（年1回以上）し、安全水準の向上を図っています。
- さらに、中央労働災害防止協会の安全診断など、外部の専門家による改善アドバイスも安全活動に活用しています。
- 安全防災に対する理念と基本方針は、構内で作業する協力会社や関係請負会社にも適用されています。

OHSAS 18001認証取得状況（2020年12月31日現在）

	取得会社数	全会社数
国内連結会社	0	28
海外連結会社	2 [※]	11
計	2	39

※取得会社：十條サーマル社、Opal社（Opal社はAS4801）

衛生・健康に関する取り組み

－ 疾病の予防・早期発見のための取り組み

当社グループでは、従業員の疾病の予防と早期発見を目指して下記の取り組みを実施しています。

- ▶日本製紙健康保険組合に加入する多くのグループ会社で定期健康診断とあわせ生活習慣病健診を実施
- ▶産業医による定期的な職場巡視の結果をふまえた職場環境の改善
- ▶従業員の配偶者を対象にした健康診断の実施

－ メンタルヘルスに関する取り組み

当社では、メンタルヘルスに関して以下のような取り組みを実施しています。

- ▶インターネットを活用したメンタルヘルスケア、カウンセリングの実施（全従業員対象）
- ▶調査票の記入による定期的な「ストレスチェック」の実施（1回/年）

－ 傷病リスクが高い業務への対応

当社グループでは、傷病リスクが高い業務に関して以下のような対策を実施しています。

- ▶労働安全衛生法などに則した設備管理、定期的な作業環境測定
- ▶化学物質等を扱う業務での危険性・有害性調査とその結果に基づいた適切なリスク低減措置・残留リスクの管理

安全・防災への取り組み

－「安全活動に関する中期計画」

当社では、2020年7月に以下の「安全活動に関する中期計画」を策定・実施しています。

中期計画の柱	①安全な環境づくり ②リスク管理 ③安全人の育成
あるべき姿	「工場構内でいかなる者にも怪我をさせない」
目標	独立型の安全風土に基づいた災害ゼロ達成の基盤づくり
計画期間	2020年～2025年
指標[※]	2020年～2023年 重篤災害の撲滅対策期間 重篤災害0件、休業災害度数率 0.4 2023年～2025年 災害ゼロへの準備期間 重篤災害0件、休業災害度数率 0.1

※工場の管理指標は、12ヵ月ごとに設定

－ 安全教育

- 当社グループ全体で、管理職を含む従業員への安全教育に注力し、安全に対する意識を促しています。
- 当社では、各工場・事業所内で労働安全衛生マネジメントシステムに関する年間計画を策定し、それに沿って階層別や雇入れ時の教育を実施しています。

－ 構内安全の確保

- 当社では「いかなる者[※]にも工場敷地内で怪我をさせてはならない」という使命に基づき、労働組合や協力会社と連携した安全パトロール・安全教育を実施しています。
 - ▶ 安全パトロール：不安全事項に対し是正を指示・指導
 - ▶ 安全教育：元方事業者として情報、資料、場所などを提供し、教育が適切に行われていることを確認
- 協力会社に対して自主的な安全活動（作業前の危険予知・リスクアセスメント等）を指導・促進しています。

※日本製紙グループ社員、協力会社、外部からの見学者、出入り業者など敷地内でのすべてのステークホルダーが対象



安全パトロール

－ 自然災害・火災への備え

- 当社グループ各事業所
 - ▶ 市町村発行のハザードマップに応じた防災マニュアルの整備
 - ▶ 地域の消防署などと連携した定期的な防災訓練
- 当社各事業所
 - ▶ リスクマネジメント専門会社による定期的な防災調査

－ 交通安全の意識喚起

- 当社グループ
 - ▶ 交通安全教育、講習会の実施
 - ▶ 警察署主催の各種交通安全キャンペーンへの参加

労働災害の発生状況

休業災害度数率

延べ実労働時間(100万時間)当たりの災害死傷者数で、災害発生 の 頻度を示す

(暦年単位)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
日本製紙グループ*	0.40	0.10	0.69	1.16	0.54	0.37
日本製紙グループ(協力会社のみ)	0.46	0.57	0.61	0.54	0.98	1.10
日本製紙グループ(協力会社含む)	0.44	0.40	0.64	0.77	0.79	0.79
製造業	1.06	1.15	1.02	1.20	1.20	1.21
パルプ・紙・紙加工品製造業	1.79	1.31	1.46	1.88	1.94	1.54

※集計対象：日本製紙、日本製紙クレシア、日本製紙パピリア、日本製紙リキッドパッケージ製品の製造事業所

労働災害強度率

延べ実労働時間(1,000時間)当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を示す

(暦年単位)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
日本製紙グループ*	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01
日本製紙グループ(協力会社のみ)	0.02	0.04	0.03	0.47	0.55	1.10
日本製紙グループ(協力会社含む)	0.02	0.03	0.03	0.30	0.33	0.64
製造業	0.06	0.07	0.08	0.10	0.10	0.07
パルプ・紙・紙加工品製造業	0.35	0.04	0.24	0.22	0.63	0.39

※集計対象：日本製紙、日本製紙クレシア、日本製紙パピリア、日本製紙リキッドパッケージ製品の製造事業所

死亡災害人数(日本製紙グループ*)

(暦年単位)

	2016	2017	2018	2019	2020
正規従業員	0	0	0	0	0
協力会社従業員	0	0	1	1	2
計	0	0	1	1	2

※集計対象：日本製紙、日本製紙クレシア、日本製紙パピリア、日本製紙リキッドパッケージ製品の製造事業所

一 構内での死亡災害に関する報告

2020年、当社協力会社で2件の死亡災害が発生しました。

災害の概要

① 江津工場協力会社

- 発生日
2020年7月3日
- 場所
江津工場 木釜チップピンバケットエレベータ
- 被災者
男性 55歳 現職経験23年5か月
- 作業名
バケットエレベータでチップ詰まりの除去作業
- 状況
点検口より内部に入り、清掃作業中に、逆転したバケットエレベータに巻き込まれたと推定される。*
- 再発防止策
 - ▶内部に入らず作業できるよう設備改造
 - ▶安全衛生推進体制の更なる向上(外部機関による指導)

② 八代工場協力会社

- 発生日
2020年12月29日
- 場所
八代工場 N2マシン損紙仕込口周辺
- 被災者
男性 41歳 現職経験0年8か月
- 作業名
巻取り損紙仕込み作業
- 状況
巻取り損紙仕込み作業中、回転中の巻取り間に挟まれたと推定される。*
- 再発防止策
 - ▶設備改造による挟まれ防止
 - ▶災害の本質的問題改善の為の委員会による活動強化

※労働基準監督署への説明済